



主な掲載内容

<1面>～平成27年中の出火原因～ガステーブルからの着衣着火火災が増えています!
<2面>エアハイパーレスキューが発隊! 消防技術安全所一般公開 消防団員募集のお知らせ
消防少年団員募集中! 春の火災予防運動 プレゼントコーナー

～平成27年中の出火原因～ ガステーブルからの 着衣着火火災が増えています!

ガステーブル*、ロウソク、電気ストーブなどの利用中、これらの器具に近づきすぎて、衣服に火がつき受傷する火災が発生しています。

過去10年間の着衣着火による死者は57人で、そのうち65歳以上の高齢者は50人(87.7%)と9割近くを占めています。

なお、平成27年中の着衣着火の発生件数は、66件で7人の死者が発生しています。

*ガステーブルとは、ガステーブル(オープン機能付含む)、1ログスこんろ、カセットこんろをいいます。

平成27年中の出火原因(速報値)

1位 放火 ↓1,013件
(前年比368件減少)

2位 たばこ ↓660件
(前年比50件減少)

3位 ガステーブル ↑458件
(前年比43件増加)

着衣着火による死者の9割近くは高齢者



着衣着火による死者の年齢区分別人数
(平成18年～平成27年)※平成27年は速報値

着衣着火の原因ワースト4

※東京消防庁管内 平成18年から平成27年の10年間(平成27年は速報値)

① ガステーブル

着衣着火火災件数 302件

火災事例1



居住者がガステーブルで調理していた際、着ていた上衣の右袖部分がこんろの火に接触し着衣着火しました。居住者は、火のついた上衣を脱いでシンクに移してから、水道の水で消火しました。

火災事例2



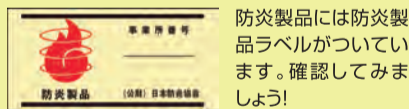
居住者がガステーブル奥の窓を開けた際、鍋をかけたこんろに右脇腹付近が接触し、着衣着火しました。居住者は濡れタオルで消火しましたが、完全に消火できず脱衣し、居合わせた夫がくすぶっていた衣類等に水をかけ消火しましたが居住者は火傷を負いました。

防災製品を身につけよう

防災製品(防災性能のある寝具類やエプロンやアームカバーなど)は、受傷の被害軽減に、大変有効です。



防災製品の試験(アームカバー)



防災製品には防災製品ラベルがついています。確認しましょう!

※各種防災製品の取扱い業者に関する情報は最寄りの消防署にお問合せください。

② ライター

着衣着火火災件数 67件

居住者がこたつに入りたばこを吸おうとライターの火をつけたところ、手元がくるい、着ていた上衣に着衣着火しました。



③ ロウソク

着衣着火火災件数 55件

居住者が仏壇前にお供机上のロウソクに火をつけたまま、仏壇の汚れを拭こうとしたところ、右腕がロウソクの火に接触し着衣着火しました。



④ 電気ストーブ

着衣着火火災件数 34件

居住者が着ていた上衣の背中部分が電気ストーブに触れた状態になり着衣着火しました。



もし火がついてしまったら…!

- ・すぐにたたき消して水をかけるか、火のついた着衣を脱いで、衣服に水をかけましょう。
- ・床に寝転がり、左右に転がることも有効です。
- ・やけどをしてしまった場合は、むりに着衣を脱がず、服の上から水をかけましょう。